

第26回アイオノマーシンポジウム in 神戸

テーマ：アイオノマーの基礎と応用、材料開発の最前線

開催趣旨：高分子に少量のイオン基を導入することで、高分子の強度、耐衝撃性、剛性率、弾性率、透明性、溶融強度などを向上させ、また新たに耐油性、接着性、導電性などを付与することができます。このような高分子の一つにアイオノマーがあります。本研究会は、このアイオノマーの基礎科学から応用用途までのさまざまな話題提供と討議の場として結成され、前回のシンポジウムで25年を経るに至りました。本シンポジウムでは、次の四半世紀に踏み出す第一歩の26回目を祝う記念講演として、会の発起人のお一人である平沢栄作氏にこの四半世紀をふりかえってご講演いただく他、三輪洋平氏（岐阜大学）にはエチレン系アイオノマーのガラス転移について、澤口孝志氏（日本大学）にはポリオレフィン系ブロック共重合体アイオノマーの開発についてご講演いただきます。また、下木有生氏（デュポン株式会社）にはアイオノマーの用途例として合わせガラス中間膜への応用について、渡邊順司氏（甲南大学）には、アイオノマー周辺分野の話題として、イオン性基を有するゲル中での炭酸カルシウムの結晶化についてご講演をいただきます。

主催：アイオノマー研究会 (http://www1.gifu-u.ac.jp/~kutsu_ap/ionomer_index.html)

協賛：日本化学会、高分子学会、日本レオロジー学会、プラスチック成形加工学会

日時：平成25年11月14日（木） 13:00～17:15

会場：甲南大学 14号館地階レクチャールーム（兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1）

会場へのアクセス：JR神戸線摂津本山駅から阪神御影南口行きあるいは渦森台行き神戸市バス（約10分）、岡本九丁目下車ですぐのところに14号館。また本山駅より徒歩約20分；阪急神戸線岡本駅から徒歩約20分。

(<http://www.konan-u.ac.jp/access/campus.html>)

開催担当者：池田能幸（甲南大学理工学部）、山田幹生（住友ゴム工業（株））、松田 聡（兵庫県立大学大学院機械工学専攻）

参加費(含要旨集代)：一般 2,500円(別途1,500円をお支払いの方は1,000円) 学生 1,000円 懇親会費：3,000円

参加申込：本シンポジウムに参加を希望される方は受付の迅速化のために下記連絡先に電子メール（smatsuda@eng.u-hyogo.ac.jp）にて参加申込みを行ってください。その際、懇親会の参加の有無もご連絡ください。

申込先：兵庫県立大学大学院工学研究科 機械系工学専攻 松田 聡 TEL/FAX:079-267-4853 E-mail:smatsuda@eng.u-hyogo.ac.jp

プログラム

13:00～13:05 開会の挨拶（甲南大学 池田能幸）

13:05～13:10 26年目を迎える挨拶 前 研究会会長・岐阜大学名誉教授 矢野紳一

13:10～13:55 記念講演 「アイオノマーの固体構造、転移と弾性率の経時変化 - 研究会の主な論争点の歴史 -」

前 研究会副会長・元 三井・デュポンポリケミカル（株）テクニカルセンター所長 平沢栄作

13:55～14:40 「ポリエチレン系アイオノマーのイオンマルチプレット近傍のガラス転移とTi転移」

岐阜大学工学部 三輪洋平

14:40～14:55 休憩

14:55～15:40 「ポリオレフィン系ブロック共重合体アイオノマー」

日本大学理工学部 澤口孝志

15:40～16:25 「高弾性アイオノマー樹脂による合わせガラスの高強度化・軽量化」

デュポン株式会社先端技術研究部 下木有生

16:25～17:10 「イオン性基を有するゲル中での炭酸カルシウムの結晶化」

甲南大学理工学部 渡邊順司

17:10～17:15 閉会の挨拶（岐阜大学 沓水祥一）

17:30～19:30 懇親会